

「当別町ボランティア制度」の視察研修

平成30年2月8日

納内地域集落対策協議会では、高齢になっても安心して納内に住み続けるために、高齢者の生活支援のしくみづくりとしてボランティア制度の創設を検討しています。この度、ボランティア制度の先進地である当別町ボランティアセンター、共生型コミュニティ農園、共生型オープンサロンを視察研修しました。当別町は共生型ボランティア制度が確立しており、「地域生活サポーター」「買い物御用聞きサポーター」「ファミリーサポーター」の3つの養成講座を受講すると、それぞれに会員登録が出来るしくみとなっていて、有償と無償のボランティア制度があってボランティアセンターがコーディネートしています。共生型コミュニティ農園とオープンサロンでは、高齢者と障がい者が生き生きと働ける場所になっていて、説明を受けた参加者からは熱心に色々な質問があり、大変参考になる有意義な研修になりました。

